

# LAND CRUISER 70

ZX 4DOOR

ZX 2DOOR FRP

LX 4DOOR

LX 2DOOR FRP

LX 2DOOR

LX 2DOOR CANVAS TYPE



## Drive Your Dreams.

人、社会、地球の新しい未来へ。TOYOTA

住宅……………トヨタホーム 人とクルマの新総合サイト…Gazoo  
21世紀をトータルサポートするカード…TS<sup>3</sup> 新サービス レンタカー、カーリース…トヨタレンタリース  
ケータイ&モバイルSHOP…PiPiit ロジスティクス…TOYOTA L&F  
クルマ買取りネットワーク…T-UP プレジャーボート…TOYOTA MARINE  
※トヨタホームは一部地域ではお取り扱いしていません。

本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。  
(このカタログの内容は'02年3月現在のもの)  
ボディカラーおよび内装色は撮影、印刷インクの関係で  
実際の色とは異なって見えることがあります。

このカタログに関するお問い合わせは、  
お近くのランドクルーザー取扱販売店  
または下記のお客様相談センターへ

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター  
全国共通・フリーフォン ☎ 0070-800-778899  
所在地 〒461-8711 名古屋市東区泉一丁目23の22  
オープン時間 月曜～金曜(除く祝日)  
9:00～12:00 13:00～17:00

いろいろなクルマと比較もできる。詳しくは!  
[www.toyota.co.jp/L70](http://www.toyota.co.jp/L70)

スピードはひかえめに。シートベルトは忘れずに。

森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。

T60018-0203

# TRADITIONS OF LAND CRUISER

強靱さと、しなやかさの融合。  
それがランドクルーザーの歴史に新しいページを開く。

Photo: B J型



灼熱のサバンナから極寒の大地まで、世界中で待ち受ける過酷な使用条件に耐え抜くタフな走り、その名を知らしめた4WDビークル“ランドクルーザー”。その「伝説」は、時代とともに積み重ね

られ、「4WDの王者」として不動の地位を築き上げている。ランドクルーザーの誕生は1951年、初代は“BJ型トヨタジープ”と呼ばれていた。乗用車では決して走ることのできない荒地や、渡河といった過酷なテスト走行が繰り返され、悪路走破性、耐久性とすべてにおいて鍛え抜かれていった。なかでも、富士山6合目までの登山走行という、常識を打ち破ったテストに挑戦。日本初の本格的4WDビークルとして、余裕をもってそれを成し遂げた

のである。1954年“ランドクルーザー”と命名。アメリカ、オーストラリア、ブラジル、中東諸国など世界中へと輸出され、その強靱さは世界各国で認められることになった。それは、日本車の



Photo: 40型

なかで世界市場に大きく進出した先駆車といえるのである。20型、30型と改良を進め、1960年、大幅改良された“40型”が登場。F型エンジン搭載、ギヤユニットやサスペンションもより高度に強化され、荒れたラフロードを圧倒的な走破力によって駆け抜けるその実力に、各国から称賛の声が届いた。その後、1967年に同時発売し始めた“55型”と、それに引き続きワゴン“60型”も、卓抜な4WD機能と乗用車感覚の乗り心地の結合性において注目を浴びた。後、1984年、40型は引退。その血統を引き継いだのが、シリーズ最強の直噴13Bターボディーゼルを搭載した

“70型”である。そして、この40型直系の70が、強靱な機動力をより極め、新しいフロントフェイスの一層精悍なスタイリングになって新登場した。伝統の血筋を脈々と伝えるランドクルーザー70型。歴史の上に、また新しいページが開かれていく。

Photo: 70型



Photo: ZX 4ドア。ボディカラーのランドフリーズトーンII <2FS>、電動ウインチはメーカーオプション。

ZX 4DOOR



Photo:ZX 4ドア。ボディカラーのランドプリーストーンニングⅡ<2FS>はメーカーオプション。

## ZX 4DOOR



Photo:ZX 4ドア・電子制御式4速オートマチック(ECT)。内装色はグレー<10>。電動デフロック(フロント&リヤ)はメーカーオプション。リヤヒーターは寒冷地仕様とセットでメーカーオプション。

\*価格はメーカー希望小売価格で参考価格です。 \*メーカー希望小売価格にはオプション価格は含まれません。 \*価格はスペアタイヤ、タイヤ交換用工具付の価格です。保険料、税金(含む消費税)、登録料などの諸掛は別途申し受けます。 \*北海道地区の価格には寒冷地仕様が含まれます。 \*沖縄地区は価格が異なります。 \*価格は各販売店が独自に定めていますので、価格については各販売店までお尋ね下さい。 \*詳しい装備の設定につきましては、P14ランドクルーザー主要装備一覧表をご覧ください。

## ZX 2DOOR (FRP)



Photo:ZX 2ドア (FRP)・電子制御式4速オートマチック(ECT)。内装色はグレー<10>。

メーカー希望小売価格\*(単位万円)

		北海道・沖縄地区を除く	北海道地区
ZX 2ドア (FRP)	5速マニュアル	286.7	289.8
	電子制御式4速オートマチック(ECT)	301.7	304.8



Photo:ZX 2ドア (FRP)。ボディカラーはグレーメタリック<1D2>



Photo:左/LX 4ドア。ボディカラーはブルー<8H6>。Photo:右/LX 4ドア。ボディカラーはベージュメタリック<4M9>。電動ウインチはメーカーオプション。LX 4ドアに電動ウインチを装着した場合は車両型式が異なります。

## LX 4DOOR

メーカー希望小売価格\*(単位万円)

		北海道・沖縄地区を除く	北海道地区
LX 4ドア	5速マニュアル	262.4	265.5
	電子制御式4速オートマチック(ECT)	276.6	279.7

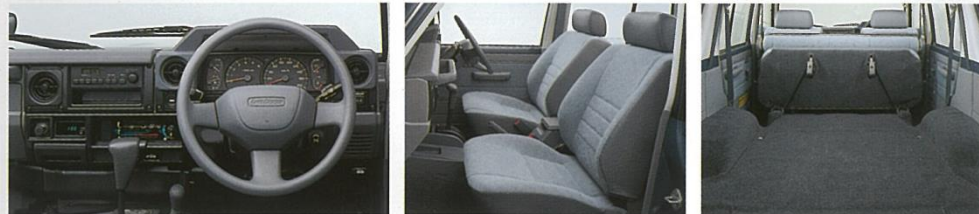


Photo:LX 4ドア・電子制御式4速オートマチック(ECT)。内装色はグレー<10>。

## LX 2DOOR (FRP)

メーカー希望小売価格\*(単位万円)

		北海道・沖縄地区を除く	北海道地区
LX 2ドア (FRP)	5速マニュアル	265.5	268.6
	電子制御式4速オートマチック(ECT)	279.7	282.8



Photo:LX 2ドア (FRP)・電子制御式4速オートマチック(ECT)。内装色はグレー<10>。ドアキー・電動電気式ドアロックとパワーウィンドウ(運転席ワンタッチ式)と大型アームレストはセットでメーカーオプション。

Photo:LX 2ドア (FRP)。ボディカラーはレッド<3L5>。



\*価格はメーカー希望小売価格で参考価格です。 \*メーカー希望小売価格にはオプション価格は含まれません。  
 \*価格はスペアタイヤ、タイヤ交換用工具付の価格です。保険料、税金(含む消費税)、登録料などの諸掛は別途申し受けます。  
 \*北海道地区の価格には寒冷地仕様が含まれます。 \*沖縄地区は価格が異なります。 \*価格は各販売店が独自に定めていますので、価格については各販売店までお尋ね下さい。



Photo:LX 2ドア(幌タイプ)。ボディカラーはホワイト<058>。マニュアルフリーホイールハブはメーカーオプション。



Photo:LX 2ドア(幌タイプ)・5速マニュアル。内装色はグレー<10>。

## LX 2DOOR (幌タイプ)

メーカー希望小売価格\*(単位万円)

		北海道・沖縄地区を除く	北海道地区
LX 2ドア (幌タイプ)	5速マニュアル	242.6	245.7



Photo:LX 2ドア・5速マニュアル。内装色はグレー<10>。

Photo:LX 2ドア。ボディカラーはイエロー<577>。スライド式電動ムーンルーフ、フェンダーミラーはメーカーオプション。

## LX 2DOOR

メーカー希望小売価格\*(単位万円)

		北海道・沖縄地区を除く	北海道地区
LX 2ドア	5速マニュアル	252.3	255.4



\*詳しい装備の設定につきましては、P14ランドクルーザー主要装備一覧表をご覧ください。

# ZX 4DOOR



Photo: ZX 4ドア・電子制御式4速オートマチック (ECT)。内装色はグレー<10>。電動デフロック (フロント&リヤ) はメーカーオプション。リヤヒーターは寒冷地仕様とセットでメーカーオプション。  
\*写真は機能説明のために計器盤の各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。

# ZX 4DOOR





## 気持ち良く反応する。 これが心地よい走りをもたらすための要素。

ランドクルーザーは、運転して楽しい、つまりドライバーに素直に反応する運動性能を持つクルマを目指した。優れた走破性や走行安定性を生む駆動系、坂道や発進時には低速トルクを、時には豪快なパワーを発揮する柔軟なエンジン、そして充分なトラクションを高めてくれるサスペンションなど。これらがひとつになって操ることを高いレベルで満足させてくれる。

**POWER TRAIN** ランドクルーザーに採用されているパートタイム4WDの駆動方式は、ドライバーの意志によって2WD → 4WDを切り替えられるので、積極的にクルマを操る楽しみがある。ここにパワフルで、しかも粘り強い4.2ℓディーゼルエンジンを組み合わせ、優れた走破性を実現している。

**パートタイム4WD** インパネ右側に設置されているワンタッチ2-4セレクターとデュアルモードオートマチックロッキングハブによって2WD → 4WDの切り替えが可能。市街地走行や高速道路では「2WD」、後輪駆動となり、低振動、低騒音、低燃費に貢献する。ラフロードや雪道で「4WD」に切り替えると、後輪に加えて前輪が駆動され、走行安定性や走破性が向上する。また、ラフロードや雪道の急坂路などでさらに駆動力が必要なときは、シフトレバー横のトランスファーレバーを「L4」にシフトすると、強力な駆動力を発揮してくれる。

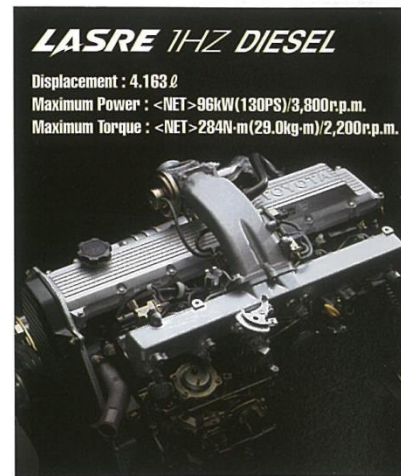
**LASRE 1HZ DIESEL** 定評あるパートタイム4WDの駆動方式と組み合わせられているのは、低振動・低騒音の4.2ℓ6気筒ディーゼルエンジン。ノンターボでありながら余裕のパワーと力強いトルクを実現し、低速での粘り強さと高速での伸びの良さによって、アクセルワークに気持ち良く反応してくれる。また、新たな排出ガス対策として、燃焼室形状を新たに見直すと同時に噴射系を最適化し、EGR(排気ガス再循環装置)を新採用。エンジンの始動性を向上させ、白煙の発生を抑えるACSD(Automatic Cold Start Device)や黒煙を低減させるDSCS(Diesel Smoke Control System)などと相まって、一層扱いやすいクリーンなエンジンとして熟成されている。

**5速マニュアルトランスミッション** 新たに、1・2速には、操作性を軽減し、よりなめらかなシフトワークを生む、トリプルコーンシンクロメッシュを組み込んだ、5速マニュアルトランスミッションを新採用。ラフロード走行時のすばやいシフトチェンジも確実に行え、快適な走りを実現している。さらに、リバースにも施したシンクロにより、車庫入れなども一層スムーズに行えるようになった。

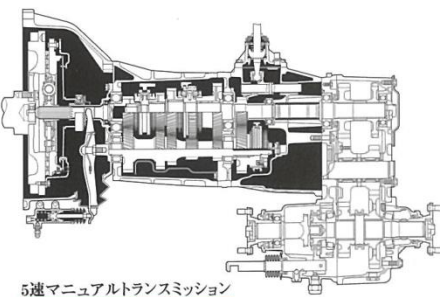
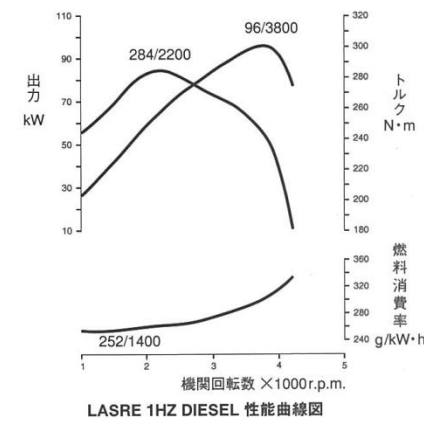
**クラッチ・スタートシステム** マニュアルトランスミッション車には、誤操作による発進を防ぐため、エンジン始動時にクラッチを踏み込まないとスターターが始動しないクラッチ・スタートシステムを採用。キャンセルスイッチにより、ラフロード等の特殊な状況においてクラッチペダルを踏まなくてもエンジン始動を可能にしている。

**電子制御式4速オートマチック(ECT)** 優れた走破性能をより一層に発揮させるため、電子制御式4速オートマチックを用意している。変速タイミングからロックアップまでをコンピュータがきめ細かく制御して、エンジンのパワーを効果的に引き出し、スムーズな走りとなめらかな変速フィーリングを実現している。またECTパターンセレクトスイッチに「2ndスタートモード」もあり、雪道、砂地などの滑りやすい場所でのコントロール性、発進性を向上させている。

**デュアルモードオートマチックロッキングハブ** ランドクルーザーには、状況に応じて前輪を自動的にロックすることができるオートロック機構と、確実にロックした状態を保てるマニュアルロック機構の、2モードのメリットを確保したデュアルモードオートマチックロッキングハブを新採用した。それにより、フロントアクスルとドライブシャフトのフリー状態では、2WD走行時の経済性と振動を含めた静粛性の向上に貢献。4WD走行時には滑りやすい路面での走破性を高め、一層信頼性の向上を図っている。



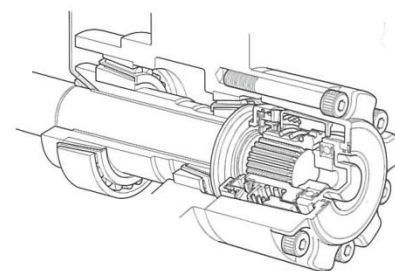
■「NET(ネット)」とはエンジンを車両搭載状態とほぼ同条件下で測定したものです。



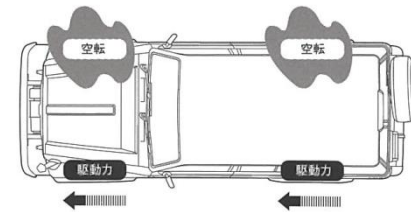
5速マニュアルトランスミッション



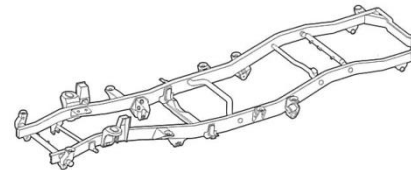
クラッチスタートキャンセルスイッチ



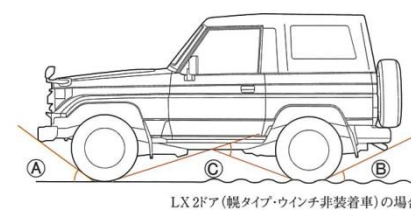
デュアルモードオートマチックロッキングハブ  
オートロック機構とマニュアルロック機構のふたつの  
メリットを合わせ持った新採用のロッキングハブ。



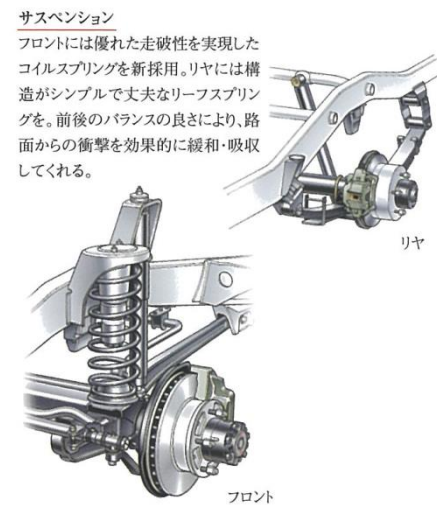
**電動デフロック(フロント&リヤ)**  
車輪をスタックさせると、デフの働きでその車輪だけに駆動力が伝達され空転し、脱出不可能となる。デフをロックさせると反対側の車輪にも駆動力が伝達されて脱出性を高めてくれる。



**ラダーフレーム**  
ハシゴ型にフレームを配した構造。丈夫で、かつ耐久性に優れ、高い信頼性をもつ。



**対地障害角**  
Aアブローチアングル36度 Bデパーチャーアングル31度  
Cランブブレークオーバーアングル32度 最低地上高195mm



サスペンション  
フロントには優れた走破性を実現したコイルスプリングを新採用。リヤには構造がシンプルで丈夫なリーフスプリングを。前後のバランスの良さにより、路面からの衝撃を効果的に緩和・吸収してくれる。

**電動デフロック(フロント&リヤ)** スタックなどで、片輪が空転して動けなくなったときに、スイッチ操作でデフの機能を停止させる機構。リヤデフ、またはリヤデフとフロントデフをロックでき、脱出性を高めてくれる。

**リヤL.S.D.(リミテッド・スリップ・デフ)** 4WDが持つラフロードでの優れた走破性をさらに高めてくれる機構。片輪がぬかるみにはまった場合などに、反対側の車輪に伝わるトルクが小さくなるデフの差動を自動的に制限し、悪路での走破性や脱出性を高めてくれる。

**BODY** ラフロードでの走破性を考えたランドクルーザー。長年にわたって培われてきたノウハウが活かされた合理的な設計となっている。その特長は丈夫なラダーフレームを使用した強靱な構造。少々のことには負けない、タフなボディを実現している。

**ラダーフレーム** ラフロードを走破するときには、前後左右からの力だけでなく、路面のアップダウンによってもさまざまな力がかかる。これに耐える剛性や強度を確保するため、箱形断面をもつフレームをハシゴ型に配置。この上にボディマウントを介して、丈夫なスチール性ボディが架装されている。さらに、フレームの前面に補強材を使用し、安全性にも配慮している。また、ボディマウントが振動を吸収し、快適な乗り心地を実現している。

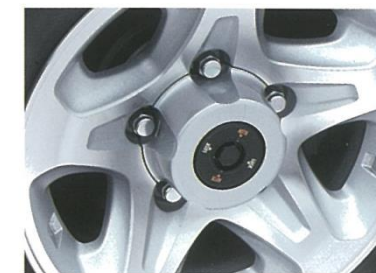
**対地障害角** ランドクルーザーはラフロードでの優れた走行性能を引き出すため、その走破性を決定づける対地障害角に余裕を持たせている。そして大径タイヤ、走行安定性に優れたサスペンション性能、充分なサスペンションストロークなどが、余裕ある対地障害角をより活かしてくれる。また、とくに駆動系の中で重要なトランスファーにはアンダーカバーが装着され、ラフロード走行中の信頼性を高めている。

**FOOT WORK** クルマを操る楽しさを求めようとする、優れた操縦安定性が欠かせない。操縦安定性を追求すると、ラフロードで激しい衝撃を受けているときや、コーナリングの遠心力でボディが傾いたときなどでも、安定してタイヤを接地させなければならない。また、乗り心地を考えると、柔軟なしなやかさが欲しい。ランドクルーザーは、優れた操縦安定性を実現しながら、オンロード、ラフロードを問わず快適な乗り心地を両立させている。

**サスペンション** ランドクルーザーのサスペンションは、フロントにコイルスプリングを新採用。耐久性を保ちながら、リヤのリーフスプリングとベストなバランスを確保することで、乗り心地を向上させ、優れた操縦安定性となめらかな不整地走破性を実現。本格派4WDに相応しい走りを可能にしている。さらに、フロントに設置されたスタビライザーがコーナリング時のロールを抑え、走行安定性にも貢献している。

**16インチアルミホイール** ランドクルーザーの精悍なスタイリングをバランスよく引き立てる、16インチのシャープな5スポークタイプ・アルミホイールを用意。新しいタイヤ&ホイールの採用により、走りの基本性能のレベルアップにも貢献している。

**ブレーキ** フロントには、安心感に満ちた制動性能を発揮する16インチのディスクブレーキを新採用。より確かなブレーキフィーリングが確保されている。



デュアルモードオートマチックロッキングハブ



ワンタッチ2-4セレクタースイッチ



電動デフロック(フロント&リヤ)スイッチ



フロントベンチレーテッドディスクブレーキ



マニュアルフリーホイールハブ



265/70R16 LT & 7JJアルミホイール



215/80R16 LT & 6JJシルバー塗装ホイール

\*詳しい装備の設定につきましては、P14ランドクルーザー主要装備一覧表をご覧ください。



とことん走りにこだわった。  
ここにはマシンとひとつになれる快感がある。

ドライバーがストレスを感じることなく運転に集中できるように、人間工学に基づいて、ドライビングポジション、操作性、視認性、快適性を追求している。コックピットに走るための機能が集約され、理想的なドライビング環境を実現している。ここに座って走りはじめるとき、このクルマとの一体感を感じる。

**INTERIOR** 思いのまま、クルマが操れる。それはオンロード、ラフロード、どんな状況においても運転に集中できることではないだろうか。これに欠かせないのがドライビングポジション。ランドクルーザーでは、シートが腰と背中をホールドし、腕、膝にゆとりをもたせたリラックスしたポジションを実現し、さらに乗り心地の良さも向上させている。ラフロード走行時

においては腕や膝に少し余裕がある方が、瞬時の操作に対応し正確でスムーズ、しかも素早い操作を可能にしてくれるのだ。この他、スムーズな操作を可能にした各種スイッチ類、視認性に優れたメーター類をはじめ、快適な運転環境を作り出すための充実した装備の数々。ランドクルーザーは、走るための機能を追求するため、さまざまな機能と工夫が施されている。

**インストルメントパネル** 的確に情報を伝える、視認性の高い新デザインのアナログメーターをドライバーに見やすい位置にレイアウト。このメーターを中心にステアリング、シフトレバーをはじめ、トランスファーレバー、ワンタッチ2-4セクター、電動リモコンドアミラースイッチなどの運転に必要な操作系を配置。ドライバーはドライビングポジションを崩すことなく操作でき、運転にも集中できる。

**フットレスト** 運転席足もとを拡大し、左足を休ませるフットレストを5速マニュアル車にも新たに設置。コーナーリングやラフロード走行中に、身体全体を安定させるためにも効果がある。

**オーディオ** ボタンだけで操作できる操作性に優れたフルロジックコントロールのカセット一体AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ+4スピーカーをZXに、AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ+2スピーカーをLXに標準装備。また、お好みのオーディオシステムが付けやすいよう、オーディオレスの4スピーカーを用意。この他、オプションとして各種、専用オーディオを用意。また、新たにバッテリーを12V化することにより、各種オーディオ類などの装着を一層容易にした。

**エアコン** 快適な空調も理想的な運転環境の実現に欠かせない。環境保護のため、従来のフロンガスに代わる新冷媒(R134a)を使用したシングルマニュアルエアコンを全車に標準装備している。冷房・暖房ともに室内にくまなく風がいきわたるようにフロント、センター、サイドに吹き出し口を設置している。とくに厳しい寒さでの使用を想定した寒冷地仕様にはリヤヒーターを用意し、暖房能力を一段と向上させている。春夏秋冬、外的環境にかかわらず、つねに快適な室内空間を維持してくれる。

**収納スペース** 使い勝手の良さや収納性も快適な運転環境の実現に欠かせない要素だ。大型フロントコンソールボックス(カップホルダー付)、フロントドアポケット、キー付グローブボックスなどちょっとした小物の収納に便利なスペースを室内の随所に設けている。大きくドアが開くリヤのラゲージスペースには、荷物の固定に便利なタイダウンフックを装備。大きな荷物を収納するときは、セカンドシートをたためれば一段と収納力は拡大する。

メーター



※機能説明のために、各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。



フットレスト



リヤシート



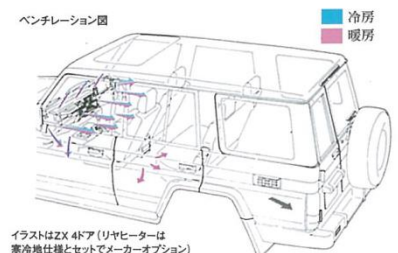
カセット一体AM/FMマルチ AM/FMマルチ電子チューナー付ラジオ電子チューナー付ラジオ

販売店装着オプションオーディオ



チェンジャーコントロールカセット CDチェンジャーデッキ MDチェンジャー-6

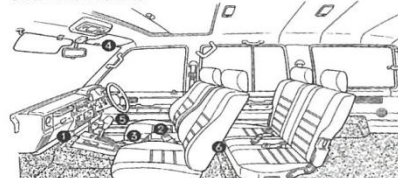
●オーディオは種類が豊富ですので、詳しい設定については、販売店におたずねください。



イラストはZX 4ドア(リヤヒーターは寒冷地仕様とセットでメーカーオプション)

ベンチレーション

冷房時はフロント、センター、サイドから冷気を吹き出し、暖房時はフロント、センター、サイド、リヤから温風を吹き出して、快適な空調を実現。



収納スペース

- 1.キー付グローブボックス
- 2.リヤコンソールボックス
- 3.大型フロントコンソールボックス(カップホルダー付)
- 4.チケットホルダー付サンバイザー(運転席)
- 5.フロントドアポケット
- 6.フロントシートバックポケット



新型フロントグリル



電動ウインチ



サンシェード付電動ムーンスルーフ(チルト&スライド)



撥水加工フロントドアガラス(グリーン)



LED式ハイマウントストップランプ



補助確認装置(2面鏡式)

**STYLE** フロントグリルを一新して、さらに逞しく精悍さを増したランドクルーザー。オンロードやラフロードにおけるその存在感を印象付けるためにも、新デザインのコンビネーションランプをはじめ、メッキバンパー、バックドア付きスベアタイヤキャリア、アルミ製サイドステップなどの個性的な外装パーツを装備。4WDとしての機能を追求して、力強い走りを全身で表現している。

**ウインチ** 電動ウインチを用意。フロントバンパー内にコンパクトに収納され、スタックしたときに脱出を容易にしてくれる。ラフロード走行において役に立つ装備だ。



**SAFETY** 何よりも、あなたとあなたの家族のために。

トヨタは、みなさまが安心してランドクルーザーにお乗りいただけるよう、安全に対する追求と開発を行っています。事故を未然に防ぐためのアクティブセーフティ(予防安全)、万一の事故の際、そのダメージを最小限に抑えるパッシブセーフティ(衝突安全)。このふたつの側面から様々な装備、技術を採用しています。しかし、クルマを安全にお乗りいただくためには、みなさまの安全への心配りが最も大切だということもご理解いただきたいと思ひます。

**ACTIVE SAFETY** アクティブセーフティ<予防安全の視点から>

安全運転は、クルマ・ドライバー・交通環境それぞれの役割がお互いを補うように噛み合っはじめて実現します。特に、事故の発生を未然に防ぐ予防安全ではドライバーの役割は重要です。その場合、クルマはドライバーの安全運転への意志をいかにサポートし、応えるかという安全性能が必要となります。<安全走行>を支える基本性能。<事故予防>のための運転環境。これには、今回全車標準装備となった撥水加工フロントドアガラス(グリーン)などが含まれます。そして<事故回避>に必要な緊急回避運動性能。これらがランドクルーザーのアクティブセーフティを構成します。

**PASSIVE SAFETY** パッシブセーフティ<衝突安全の視点から>

万一事故が発生した場合、クルマが果たすべき大きな役割は<乗員保護><乗員救護>のふたつです。<乗員保護>については、安全な客室空間の確保と衝突の衝撃による客室との二次的衝突から乗員を保護する、という考えから成り立っています。そして<乗員救護>では、乗員の車両からの速やかな脱出・救出に力点が置かれます。また、<歩行者や二輪車乗員の保護>への配慮も必要となります。ランドクルーザーのパッシブセーフティは、これら様々な側面から安全性の高さを追求したものです。



運転席シートベルト非着用警告灯(点滅式)



左:ベビーシート / 中:G-child plus / 右:G-Child

●詳しい設定は用品カタログをご覧ください。



ファーストエイドキット(左:高級タイプ/右:標準タイプ)

\*詳しい装備の設定につきましては、P14ランドクルーザー主要装備一覧表をご覧ください。

